

K  
S  
K  
P

(平成14年2月)

No. 39

## 編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

西浦三郎

〒650-0016 神戸市中央区橘通4丁目1-28  
辻ビル2FTEL 078-360-2618/FAX 078-360-2615  
E-mail dfbbd601@kcc.zaq.ne.jp

## 市町村中心の精神保健福祉へ

兵家連会長 西浦三郎



平成十一年に改正された精神保健福祉法の一部施行により、これまで保健所が担ってきた精神保健福祉の分野に、住民により身近な市町村が積極的に関わることとなり、本年四月からは、精神障害者の在宅福祉サービス等が市町村に移されることになりました。

具体的には、居宅生活支援事業として、従来の地域生活援助事業（グループホーム）に、居宅介護事業（ホームヘルプ）短期入所事業（ショートスティ）を加えた在宅福祉サービス事業が市町村の業務として実施されます。

また、福祉サービスの利用に関する相談・助言・あっせん・業務のほかに、通院医療費公費負担制度、精神障害者保健福祉手帳の申請等についても市町村が窓口業務を行うことになり、保健所が支援体制を敷くことになっています。

このことにより、地域精神医療・保健・福祉が充実され、在宅の精神障害者の人々が安心して自立生活を営み、社会参画が促進される社会が実現できることを切に願っています。

## 精神保健福祉に関する電話相談

兵家連では、精神障害者に関する相談ごとについての電話相談を受付けています。

毎週、月～金曜日、10時より15時 ☎ 078-360-3610

## 小規模授産施設づくりの動向について（2002年1月17日現在）

社会福祉法人認可の要件が大幅に緩和され（資産1千万円、施設は賃借でもよい）、法人になれば作業所が小規模授産施設に、地域生活支援センターも設置可能になる。各作業所は今、法人格取得、施設設立の資金作りに動き出している。

〔神戸市内〕

社会福祉法人・かがやき神戸〈神戸市西区櫛谷町長谷字渋谷83-26〉

小規模授産施設、授産施設生活支援センター設置申請、神戸市受理済み

作業所・つくしんぼ〈北区所在〉→小規模授産施設・つくしんぼ

(新設) 授産施設・だんだん(新設) 生活支援センター・ひだまり小倉

作業所・ミニなでしこ〈西区所在〉→小規模授産施設

NPO法人・中央むつみ会〈神戸市中央区日暮通6丁目1-17-1F〉

小規模授産施設設置申請、神戸市受理済み

作業所・ほっとすてーしょん(中央区むつみ会)→小規模授産施設

兵庫むつみ会〈神戸市兵庫区荒田町4-13-8〉

社会福祉法人設立、小規模授産施設設置申請、神戸市受理済み

運営主体・兵庫むつみ会→社会福祉法人・はっく兵庫

作業所・兵庫むつみ会→小規模授産施設

社会福祉法人・神戸福祉会〈神戸市兵庫区湊川町10丁目24-15〉

小規模授産施設設置申請、神戸市受理済み

作業所・クッキー工房マミー→小規模授産施設

垂西むつみ会〈神戸市垂水区御靈町4-13-102〉

社会福祉法人、小規模授産施設、地域生活支援センター設置申請、神戸市受理済み

運営主体→社会福祉法人・すいせい

作業所・垂西むつみ会→小規模授産施設・ワーフス垂水

(新設)→地域生活支援センター・ハーモニー垂水

木の芽家族会〈神戸市東灘区深江南町4-10-25〉

社会福祉法人、小規模授産施設設置申請、準備中

運営主体・木の芽家族会→社会福祉法人・木の芽福祉会

作業所・御影俱楽部→小規模授産施設

ゆうわ会〈神戸市北区〉

社会福祉法人、小規模授産施設設置申請、準備中

運営主体・ゆうわ福祉会→社会福祉法人

作業所・北むつみ会→小規模授産施設

〃 すずらんの里→〃

〃 野いちごの会→〃

〃 ブルーベリー→〃

〔神戸市を除く兵庫県下〕

尼崎あすなろ福祉会〈尼崎市尾浜町3丁目15-6〉

社会福祉法人設立、小規模授産施設設置申請、兵庫県受理済み

運営主体→社会福祉法人・尼崎あすなろ福祉会(01年11月認可)

作業所・あすなろ亭→小規模授産施設・あすなろ亭

医療法人・新淡路病院〈洲本市上加茂43〉

小規模授産施設設置申請、兵庫県受理済み

作業所・さくらんぼの家→小規模授産施設・さくらんぼの家

☆木の根家族会〈氷上郡柏原町柏原5028-1〉の動き

当初（平成13年頃）平成14年度に法人化を目指していた。

その後個人の所有である土地を町が買い取った上で、町から家族会が借りる話が出てきたため、その話がまとまるまで中断の状態

☆行政が行う施設整備の動き

- (1) 津名郡五町が、運営を津名郡広域運営組合に委託して、平成14年度中に精神障害者授産施設を設置する方針
- (2) 篠山市が、平成14年4月開設を目指し、精神障害者地域生活支援センターを建設中。同センターの運営は市が直接行う予定



## 公営住宅をグループホームに

施設から在宅への流れが進む中、神戸市が今年度から市営住宅の空き室を知的や精神障害者のグループホームに活用することを決め、その運営をNPO法人に委託することになりました。また、県営住宅も昨年十二月から社会福祉法人等の法人運営によるグループホームの活用ができる途が開かれています。

このように公営住宅の空き室をグループホームに利用することは、すでに宝塚市と加古川市の市営住宅で実施されています。

精神障害者の自立と社会参加には、申すまでもなく作業所とグループホームは車の両輪のように必要不可欠のものですが、民間の住宅を充てるには建物整備の費用や一般の理解が不十分な点などもあり、近年は作業所の増加ほどには至っておりません。

これを機に公営住宅の活用を各市町へ働きかけましょう。

\*\*\*\*\*

## 精神医療にオンブズマン制 権利擁護へ公的支援

NPO（非営利組織）と行政機関、専門家、市民の連携で、精神科病院の入院患者の権利を守る「精神医療オンブズマン制度」（仮称）が大阪府で今年度からスタートする。

オンブズマンが病棟を訪ねて患者の声を直接聞き、病院側に改善を求める仕組みで、予告なしの訪問も行う。医療現場へ積極的に出向いて行う公的な権利擁護制度は、全国でも初めての取り組みとして注目される。

### <兵家連賛助会員募集>

あなたのご支援で、兵家連は運営されています !!

年会費 団体の場合 1口 (10,000円) 以上

個人の場合 1口 ( 3,000円) 以上

振込先 郵便振替 01110-4-83568

## 精神分裂病の名称を 『統合失調症』に変更

日本精神神経学会は一月十九日、東京都内で理事会を開き、精神疾患の精神分裂病の名称を、正常な連想ができないことを意味する「統合失調症」に変更することを承認し、今後、評議員会、総会の承認を経て、今年八月に横浜市で開かれる世界精神医学会で正式に発表される予定です。

国内では、一九三七年に同学会による用語統一の試案が公表されてから、精神分裂病が徐々に定着していますが、しかし医学的に不適切な上、「精神全体が分裂しているような印象を与え、差別と偏見を助長する」などとして、患者や家族からも根強い要望があり、六十五年ぶりの変更となったものです。

病名変更は精神疾患への偏見をなくすという世界共通の課題に向けた日本独自の取り組みですが、社会的に定着するまでには法令改正など行政的な手続きや、一般市民への周知などが課題となります。

---

## 無年金障害者問題の解決に向け 厚労大臣談話と原告団の動き

一月十一日の閣議後の記者会見で、坂口厚労大臣が無年金障害者問題の政治的解決に向けた談話を発表しました。

内容は、現在の年金制度が整う以前に障害を負ったため、障害基礎年金が支給されていない、いわゆる無年金障害者らについて、「政治の場では大きな問題になる。しっかり検討し、早く結論を出さなければならない」と述べ、救済を目指す考えを示したもの。

無年金障害者は、国民年金の加入が任意だった時代にケガなどで障害を負った当時の学生や専業主婦らで、全国に約十万人いるとされ、年金支給を求める訴訟も起きています。

平成十年一月から始まった集団年金請求運動は、全国九地裁で訴訟中ですが、原告団は大臣の発言を受け、面会を求めるなどの要望書を提出することになっています。

## 池田小事件 容疑者報道の陰で 精神障害者の4割に悪影響

大阪教育大付属池田小学校で昨年六月起きた児童殺傷事件の被害をめぐる報道で、38%の精神障害者が精神的な動搖や周囲との人間関係の悪化など何らかの影響を感じていることが、全国精神障害者家族会連合会の調査で判明しました。

同事件では、詫問守被告の過去の入・通院歴や病名などが報道されましたが、同被告は「精神障害者を装った」と供述。同連合会が精神障害者への影響をデータで明らかにしたのは今回が初めてです。



### 表彰おめでとうございます

☆第49回精神保健福祉全国大会（平成13年11月9日、長野県県民文化会館）

日本精神保健福祉連盟会長表彰受賞 山本春義さん

☆第34回全国精神障害者家族大会（平成13年10月31日、北九州市）

全国精神障害者家族会連合会理事長表彰受賞 斎賀嘉寿美さん 東口カツさん

☆平成13年度兵庫県障害者福祉大会（平成13年12月8日、龍野市総合文化会館）

兵庫県精神障害者家族会連合会表彰受賞

真殿明美さん、水田恭子さん、谷口佐和子さん、佐野アサエさん、

根来幸生さん、竹元ヨシノさん、六路木三子さん、可藤さだえさん、

高山基佐男さん、辻征子さん、平野勝夫さん、平坂春雄さん、

武田幸子さん、山口禱子さん、春日町民生委員婦人部さま



### 〈お詫びと訂正〉

兵家連37号の精神保健福祉講座No.31の文章に誤りがありましたので、お詫びと訂正を致します。入所施設の説明の中で、援護寮について「職員が24時間体制です」と書きましたが、施設基準では、そのような規定はありません。また、「援護寮」という名称も「生活訓練施設」が正式名称に変更され、「援護寮」は通称となっています。大変申し訳ございません。（田村）

## 社会の動き

### ■こうべ市民福祉振興会、後見人事業スタート

神戸市の外郭団体の同会は、2000年4月に導入された成年後見制度に基づき、判断能力が低下したお年寄りや障害者の「後見人」として預貯金管理などを行う「くらしの安心サポート」事業を2001年10月から始めた。自治体による後見事業は横浜市に次いで二番目。

### ■障害者ホームヘルパー養成講座

地域で暮らす障害者に介助者の派遣などを行っているNPO法人「かめのすけ」（西宮市）が、2001年12月から2002年3月までの間、同市総合福祉センターで養成講座を開く。

### ■知的障害者をヘルパーに

尼崎市社会福祉協議会は、知的障害者を対象にホームヘルパー3級の資格取得のための支援事業に乗り出した。市内の養成研修所の協力で特別カリキュラムを設定。資格取得後は同社協のホームヘルパーに登録する。

### ■鉄道運転士免許、障害者でも受験可能

国交省は01年12月12日までに、身体の一部に障害ある人でも、運転に支障ない場合、受験できるよう、試験の身体検査基準を見直すことを決めた。同省士の免許は毎年、全国で約2千5百人が取得している。

### ■津名郡、精神障害者向け授産施設

同郡広域事務組合は、精神障害者が社会復帰を目指し、技術を習得する授産施設を02年に建設する。淡路では初。

### ■障害者白書、IT利用の障壁解消を

政府は01年11月30日の閣議で、2000年度版「障害者施設に関する年次報告（障害者白書）」を決定した。

今回は情報技術（IT）革命進展の陰で障害者が「情報格差」に直面していると指摘、障害者もパソコンを扱い、情報にアクセスし、発信できる「情報バリアフリー」の実現を求めたのが特徴だ。

### ■姫路市議会、大型合併案

同市で、兵庫県内二番目の政令指定都市を目指した合併への模索が始まった。姫路市は1996年に中核市に移行。国などからの権限委譲を受けたが、市民生活に直接関わる権限が少なく、政令都市になれば、国からの普通交付税割り増しなどで財政的基盤の強化ができると踏んでいる。

### ■洲本市と津名郡二町の合併実現へ始動

洲本市と津名郡津名町、五色町の三市町は02年1月22日、臨時議会を開き、三市町で合併し、新市計画を考える協議会設置案をそれぞれ可決した。

### ■女子大生社長、福祉施設と企業の橋渡し

女子大生の南条りかさんは、大阪府吹田市にある「社会福祉事業研究所」の社長。福祉施設に仕事を紹介し、施設で作った商品を企業に売り込むのが仕事。

女子大生社長の会社は従業員4人、年商3千万円にまで成長している。



K  
S  
K  
P一九八四年八月二〇日第三種郵便  
認可

毎日発行

定価 五十円

発行人 || 関西障害者定期刊行物協会 / 大阪市城東区東中浜二丁目一〇一十三  
アド企画 気付

## 兵 家 連 活 動 日 誌

## 役員の動き

- |           |                                   |        |                           |
|-----------|-----------------------------------|--------|---------------------------|
| 10. 24    | 兵庫県精神保健福祉審議会 (辻)                  | 11. 29 | 但馬地区情報連絡会議<br><長寿の郷>      |
| 10. 26    | 兵庫県精神障害者グループホーム<br>連絡会総会 (西浦)     | 12. 1  | 木口財団交流会<br>(西浦、東口、酒井)     |
| 10. 30~31 | 全家連全国大会 <福岡>                      | 12. 4  | 障害者の日街頭キャンペーン<br>(東口)     |
| 10. 30    | 兵庫県社協・評議員会 (西浦)                   | 12. 5  | 東播磨地区情報連絡会議<br><明石市> (西浦) |
| 11. 3     | ハートフェスタ <神戸市内>                    | 12. 7  | はーとふる兵庫展 (西浦、落合)          |
| 11. 5     | はーとふる兵庫実行委員会<br>(落合)              | 12. 8  | 兵庫県障害者福祉大会 <龍野市>          |
| 11. 6     | 但馬・丹波地区研修会<br><長寿の郷> (西浦)         | 12. 12 | 精神保健福祉の在り方検討委員会<br>(西浦)   |
| 11. 7     | 兵庫障害者職業センター家族講話<br>(西浦)           | 12. 19 | 兵庫県精神保健福祉審議会 (辻)          |
| 11. 8     | 阪神地区情報連絡会議 <尼崎><br>(西浦)           | 12. 19 | くぬぎ家族教室 <西宮> (西浦)         |
| 11. 13    | 小規模授産施設づくり研修会<br><神戸>             | 12. 26 | 精神保健福祉の在り方検討委員会<br>(西浦)   |
| 11. 14    | 神戸市民福祉大学・精神保健ボラ<br>ンティア講座・講義 (西浦) | 12. 28 | 無年金障害者公判 <大阪><br>(西浦)     |
| 11. 17    | 姫路・西播磨地区研修会 <姫路><br>(西浦)          | 1. 10  | 組織改革委<br>(西浦、酒井、滝、落合)     |
| 11. 24    | かがやき神戸・評議員会 (西浦)                  | 1. 11  | 公明党新春会 <神戸> (西浦)          |
| 11. 27    | 障害者雇用・就業支援ネットワー<br>ク委員会 (西浦)      | 1. 20  | かがやき神戸評議員会 (西浦)           |
| 11. 27    | 震災弱者支援指針策定委員会<br>(吉田)             | 1. 22  | 災害弱者支援指針策定委 (吉田)          |
|           |                                   | 1. 24  | 会長会議 <あすてっぷ神戸>            |



## あとがき

無年金障害者の年金支給を求める訴訟の行方について、坂口厚労大臣の談話によって、少しは明るい兆しが見えますが、余断は許しません。次回の第三回目の公判は、三月二十九日、大阪地裁で午前十時から開かれます。ご支援ください。  
(酒井)

平成13年 兵庫県障害者福祉週間における「はーとふる兵庫展」が募集した『詩』の応募で、下記の八名の方が入選しました。

(1) 作業所

辻 浩一郎(平磯フレンドリー)

健常者の友の職場に行った。  
 その作業所で見知らぬホーム生に  
 僕も障害者ですと言った  
 そしたら 音楽をかけてくれて  
 みんなが笑顔になった  
 みんな 僕を励ましてくれた  
 僕も作業所の製品を沢山買った  
 でもどれもこれもあまりに安くて  
 悲しかった

(2) 心の病を持つ者として

糸平 昌二(平磯フレンドリー)

涙をこらえて 登った坂がある  
 こらえて登ったその坂の  
 たどりつくはずの  
 その坂の上に  
 何があるのか  
 涙して登りきったら  
 その坂は  
 何に変わるのだろう  
 涙をこらえて 登った坂は  
 暖かくなるのか  
 それとも静かに眠るのか  
 登りきって涙した時  
 その坂は  
 何になるのだろう

(3) 輝く朝

山本由美子(神戸ひまわり会)

真っ黒な夜を長い間  
 さ迷っていた私  
 手探りで歩いていた私  
 陽が見えかけた時  
 いつも挫折していた  
 神経症と言う  
 呪わしき病 の為に、、、  
 だが やっと小さな輝きを見つけた  
 家族の優しい労りの中に  
 それを見つけた  
 陽の輝く素晴らしい朝を

(4) 泥に咲く花

田中 誠(グループ論)

身体の不自由な人達が  
 もどかしさを感じるように  
 耳の不自由な人達が  
 美しいメロディーと出会えないように  
 そして目の不自由な人達が  
 道端に咲く花を賞でられないように  
 私達の心にはポッカリと穴があき  
 その穴から滴が落ちています  
 でもいつの日かその滴がたまって  
 泥の池となり 希望という名の種が宿り  
 蓮の花となって咲くのです



(5) 二十一世紀の精神病患者

李 正博（ハートフルクラブ）

狂っている自分がいる  
 その狂っている自分を平静に見ている自  
 分がいる  
 二十世紀は狂気の時代だった  
 人が人を大量に殺伐する為に科学は進歩  
 した  
 そして二個の原子爆弾が日出る国に炸裂  
 し  
 地球規模の殺し合いは終わった  
 飢えの恐怖からこの国は新たな狂気に走  
 る  
 金 欲望 物欲  
 全てお満たすために人々は走った  
 人間の心を否定してまでも  
 自然を破壊してまでも  
 ビートルズやロックミュージックを聴き  
 ながら  
 僕は少しずつ現実とずれていく  
 望む現実とそれと望まない現実の狭間で  
 脳細胞が吹っ飛んだ

(6) 親

西川 幸子（心のワークセンター）

私の親ってね  
 いつも私のこと考えてくれてるねん  
 とっても私 親に感謝してるねん  
 だっていっしょけんめい  
 何でもしてくれてる大好きな  
 両親やもん  
 でもね親がなくなったら  
 私どうしようか？。。。と。  
 もーどうしたらいいのかわからへん  
 もー私も死んでしまうかもしけへん  
 どうしようかな？

(7) 生きること

久米川洋子（赤相みのり、赤穂）

生きることってどういうこと  
 心臓を快く動かすこと  
 おいしいものを食べて楽しむこと  
 生きることってどういうこと  
 迷子でないてる子供を交番にとどけるこ  
 と  
 電車で重い荷物を持っている  
 おばあちゃんに席をゆずることそれも  
 大切ね  
 生きるってどういうこと  
 いつまでも元気で人に迷惑をかけないこ  
 と  
 どんな苦しみにも笑顔を忘れないこと  
 それも大切な  
 でも一番大事なことは  
 人に愛を与えること  
 何もできない私だけれど  
 一日一日がんばって  
 生きることの本当の意味をつかみたい

(8) ほおずきの雨

酒井多美子（みちくさ家族会）

地面に水をうった  
 雨上がりの晴れ間に  
 ほおずきの実が  
 オレンジ色に光っている  
 姪が駆け回る裏庭で  
 眩しい光を見た時  
 私は  
 幼なかりし日の自分を  
 姪にだぶらせて  
 ただ微笑んで  
 立ちつくした初夏だった